

4wayロンパース 作り方



- こちらのパターンは、布帛で作るベビーロンパースです。
- 後ろボタン仕様となり、股下はブルマタイプ・ショートオールタイプ
の2種類に加え、フリル付きフリルなしの4通りでお作りできます。
- 股スナップで開閉出来るのでおむつ替えも楽々です。
- すべて縫い代込みとなっておりますので、切り取ってそのままお
使いいただけます。
- 「わ」の表記と指定の数字が記載されている箇所以外は縫い代
1cmで作製することとします。
- ロックミシンの併用を推奨しますが、家庭用ミシンのみでも作製で
きます。説明文にある「端を処理します」とはロックミシンorジグザグ
ミシンで端をかがることです。

※ こちらのパターンを使用して作られた作品については、委託販売・ネットショップ・オークション等、個人の範囲内に限り自由に販売していただいて構いません。
※ パターン及び仕様書自体の中古販売・複製販売は、固くお断りさせていただきます。
ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

★出来上がり寸法(cm)

	60	70	80	90
ショートオール 総丈	42.5	45	48.5	51
ショートオール 股上	39	42	45.5	48
ブルマ 股上	38.5	42	46	48.5
身巾	25	27	28.5	30

※出来上がり寸法は型紙を計測したものです。

★必要用尺(cm)※110cm幅

	60	70	80	90
表裏生地	70	80	85	100
ショートオール 足周りゴム (×2本)	21	22	23	24
ブルマ 足周りゴム (×2本)	22	23	24	25

※裏身頃も含めた用尺です。

※裏身頃やフリルを別生地にしたリ、差し込みで裁断した場合は、
これより少ない用尺で済む場合があります。

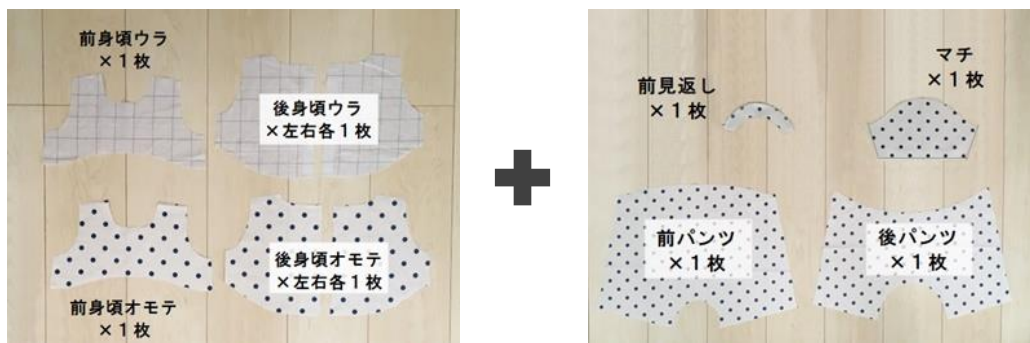
用意するもの

- 推奨生地…ローン、Wガーゼ、シーチング、ブロード、リネン、
ビエラ、コーデュロイ等の薄手～中厚生地
 - 接着芯…薄手の伸びないもの
 - 4～6コールゴム…ソフトタイプがおすすめです
 - スナップボタン(ショートオール股下用)…5組
 - スナップボタン(ブルマ股下用)…3組
 - スナップボタン(背中用)…4組
- ※スナップボタンの必要数は全サイズ共通です。

準備

- ①前見返し・マチ・後身頃(表裏生地どちらか片方)に接着芯を貼っておく。
- ②身頃・パンツの前後中心、フリルの肩線に印をつけておく。

【フリルなし + ショートオールver.】必要パーツ



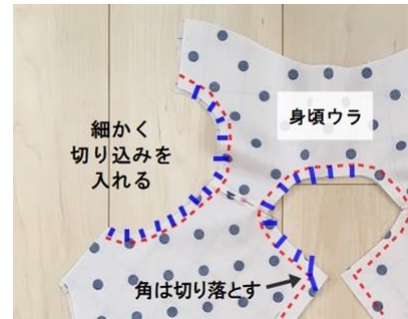
【フリルなしタイプ身頃の縫い方】



1. 表身頃・裏身頃それぞれの前後を中表に合わせ、肩を縫い合わせます。



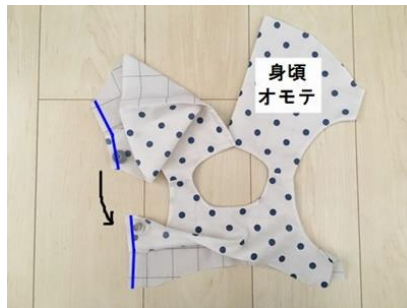
2. 表身頃と裏身頃を中表になるように重ね、上の赤線の部分を縫い合わせます。



3. 縫い代に切り込みをいれます。カーブのきついところはなるべく細かく入れると仕上がりがきれいです。透ける生地などは必要に応じて縫い代を半分に切り落とすと良いです。



4. 前身頃の間から左右の後身頃を引っ張り出し、形を整えてアイロンで押さえます。



5. 前身頃と後身頃の端を中表に重ね、縫い合わせます。



6. 縫い代を割ってアイロンで押さえ、後身頃を2cm重ねて仮止めておきます。

【ショートオールver.の縫い方】



7. マチ端と前見返しを空ロックまたはジグザグミシンで端を処理します。



8. 後パンツとマチのカーブ部分を中表に合わせて縫い合わせ、端を処理します。



9. 前パンツに見返しを中表に合わせ、縫い合わせます。



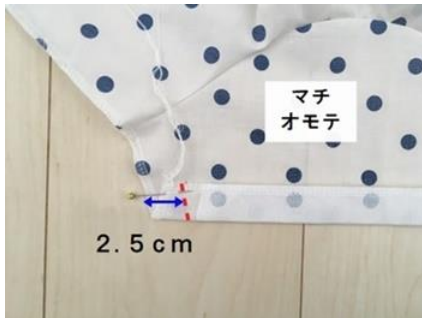
10. 切り込みを入れ、見返しのみ縫い代を切り落とし(省略可)、表に返してアイロンで押さえます。
※まだ見返しをステッチで押さえません。



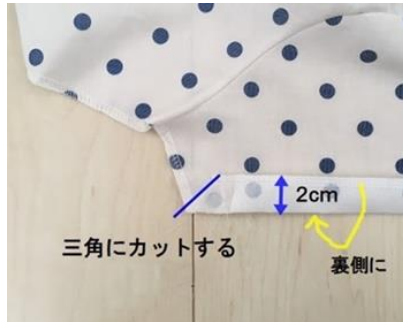
11. 前後パンツを中表に合わせ、脇を縫い合わせます。ロックまたはジグザグミシンで処理します。



12. 前パンツ～後マチまで裾に空ロックまたはジグザグミシンをかけ端を処理します。(左右とも)



13. マチ端(接着芯を貼った部分)を表側に2cm折り返し、左右端から2.5cmの箇所を折り返した幅分のみ縫い合わせます。



14. 縫い代を三角にカットし、折り返し部分を裏側に返して幅2cmでアイロンで押さえます。



15. 前パンツ～後マチまでの裾を2.5cmで折り返し、アイロンで押さえます。



16. 前パンツ側は、裾を見返しに重ねます。その時少し出た縫い代は内側に折り込むか、切り落としておきます。



17. 裾端(わになっている方)から1cmのところステッチをかけます。



18. 17の工程で縫った線に寄せるようにしてゴムを入れ、ゴム端をマチ折り返し部分の下に5mmくらい挟みます(左右とも)。ゴム端を縫う(押さえる)ようにしてステッチをかけます。
※ゴムが簡単に抜けないう、ゴム部分を何度か返し縫いすると良いです。



19. ゴムの反対端をねじれないよう前見返しの下に同じように挟み、ゴム上を縫いながら見返し端にステッチをかけます。



20. 前後パンツにゴムが繋がった状態になったら、フリル部分の横にゴムを入れながら縫って(閉じて)いきます。
ゴムと一緒に縫わないように注意してくださいね。
これでパンツ部分の完成です。

【身頃とパンツをドッキングさせる】

ギャザーを寄せる



21. 前後パンツの身頃縫い合わせ部分に粗ミシンを2本かけ(粗ロックでも可)、ギャザーを寄せます。

※限界までギュッと寄せてアイロンでくせ付けし徐々に緩めると均等にギャザーを寄せることが出来ます。



22. 前後パンツを裏返し、その中に中表になるように身頃を入れ(前後逆にならないように注意)、脇と中心を合わせます。先ほどのギャザーをゆるめながら身頃の寸法に合わせていくのですが、脇がずれないように合わせるポイントは次へ→



23. 身頃・パンツともに端ではなく端から1cmのところ(黄色の○)を合わせるようにしてクリップやまち針で固定すると脇線同士の縫い上がりはずれません。

一周縫い合わせたと、端を処理します。表に返し、お好みでステッチをかけてもOKです。

【フリル付き + ブルマver.】必要パーツ



24. 後身頃と股部分にスナップボタンを付けて完成です♪

【フリル付きタイプ身頃の縫い方】



1. 裏身頃の前後を中表に合わせ、肩を縫い合わせます。



2. フリルを中表に重ね、身頃側ではない方を1cmで縫い合わせます。縫い代を半分切り落とし、表に返してアイロンで押さえてからステッチをかけます。(左右とも同じ)

※巻ロック処理の場合はフリル一枚に巻ロックをかけます。



3. フリルの身頃側に粗ミシンを2本かけ、ギャザーを寄せます。限界まで寄せたら、寄せた部分1cm程をアイロンで押さえ、クセを付けます。



4. 表身頃の前後パーツをそれぞれ中表に合わせ、肩を縫い合わせます。縫い代をアイロンで割っておきます。



5. 表身頃真ん中のパーツにフリルを中表に合わせます。肩線同士を合わせ、フリル止まりの位置まで少しずつフリルのギャザーをゆるめていき、まち針やクリップで押さえます。ギャザーが均等になるよう調整し、縫い合わせます。

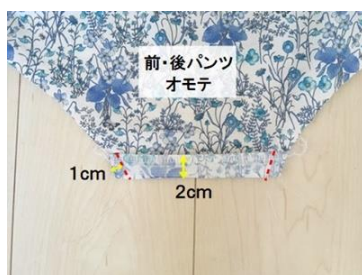


6. 5でつけたフリルの上に表身頃端パーツを真ん中パーツと中表になるように重ね、縫い合わせます。(左右とも)
※この後の工程は「フリルなしタイプ」工程2~6と同じですので、仕様書5-2を参照してください。

【ブルマver.の縫い方】



7. 前後パンツを中表に合わせて脇を縫い合わせ、端を処理します。接着芯を貼った股の端をロックorジグザグミシンで前後パンツともかがっておきます。



8. 前後パンツそれぞれの縫い代部分(接着芯を貼った部分)を表側に2cm折り、左右端から1cmの箇所を折り返した幅分のみ縫い合わせます。



9. 端の縫い代を三角に折って(または切り落として)おきます。



10. 前パンツ~後パンツまでの裾に空ロックまたはジグザグミシンをかけて端を処理します。裏側に1cm折り、8の工程で縫った折り返し部分も表に返し、アイロンで押さえます。



11. 前パンツの折り返し部分の下にゴムを入れ、ゴム端を5mm程挟みます。まち針等で一旦押さえ、左右とも同じく挟みます。



12. ゴムを縫い押さえるようにして折り返し部分にステッチをかけます。※ゴムが簡単に外れないよう、ゴム上を何度か返し縫いしておくとも良いです。



13. ゴムがねじれないよう、後パンツ側にもゴム反対端を入れ込み、左右とも挟んだら同じくステッチをかけます。
※左右ともに前~後にゴムが渡っている状態



14. ゴムを縫い込まないように注意しながら、ゴム入れしつつ裾を縫い閉じます。これでパンツ部分の完成です。



15. このあとは5-4ページ工程21~23と同じですので、「身頃とパンツをドッキングさせる」を参照してください。スナップボタンを付けて完成です。